

令和元年7月16日

西部農林振興センター浜田農業普及部

標題 目指せ適期出荷！－取り組み3年目の江津市産小ギクについて－

(ダイジェスト)

江津市における小ギク栽培は、本年度で3年目を迎えました。新たな生産者も増え、徐々にその取り組みは拡大しつつあります。今年度の出荷に向け、出荷目合わせ会を開催し、小ギクの切り前や出荷規格、出荷調整の手順の確認を行いました。

江津市における花き振興の一環として、平成29年度より小ギク栽培の取り組みが始まり、本年度で3年目を迎えました。本年度は生産者が5名増加し9名となり、また、栽培面積も3.2aから10.8aに拡大しました。

浜田農業普及部としてもこの取り組みを支援するため、昨年度に引き続き今年度も毎月の栽培講習会を開催し、栽培技術の習得支援を行うとともに、関係者（市・JA）とほ場巡回を実施して生育状況の確認を行っています。また、比較的単価の高い盆前の7月下旬～8月上旬に安定して出荷が行えるように、植物成長調整剤の使用回数の検討や、実証ほを設置して草丈や蕾の大きさの調査を定期的に行い、データ収集を行っています。

今年度の出荷開始に向け、7月9日に出荷目合わせ会を開催しました。出荷目合わせ会では、小ギクの出荷調整の手順や切り前および出荷規格、出荷時の梱包方法等の確認を行うとともに、(株)花満 切花部の藤岡部長と松本課長に市場情勢についての情報提供をしていただきました。また、目合わせ会後は、各生産者のほ場を巡回し、(株)花満より直々に(!)出荷に関する指導をしていただき、自分の生産物を見ながら再度切り前を確認しました。

今後は、来年度に向けて親株管理と育苗についての講習会を開催するとともに、この3年間で得られた栽培データを活用した「江津市小ギク栽培マニュアル」を作成し、次年度以降の新規生産者獲得へ向け、小ギク栽培の普及拡大につなげていく予定です。



出荷目合わせ会の様子



収穫を目前に控えた小ギク